

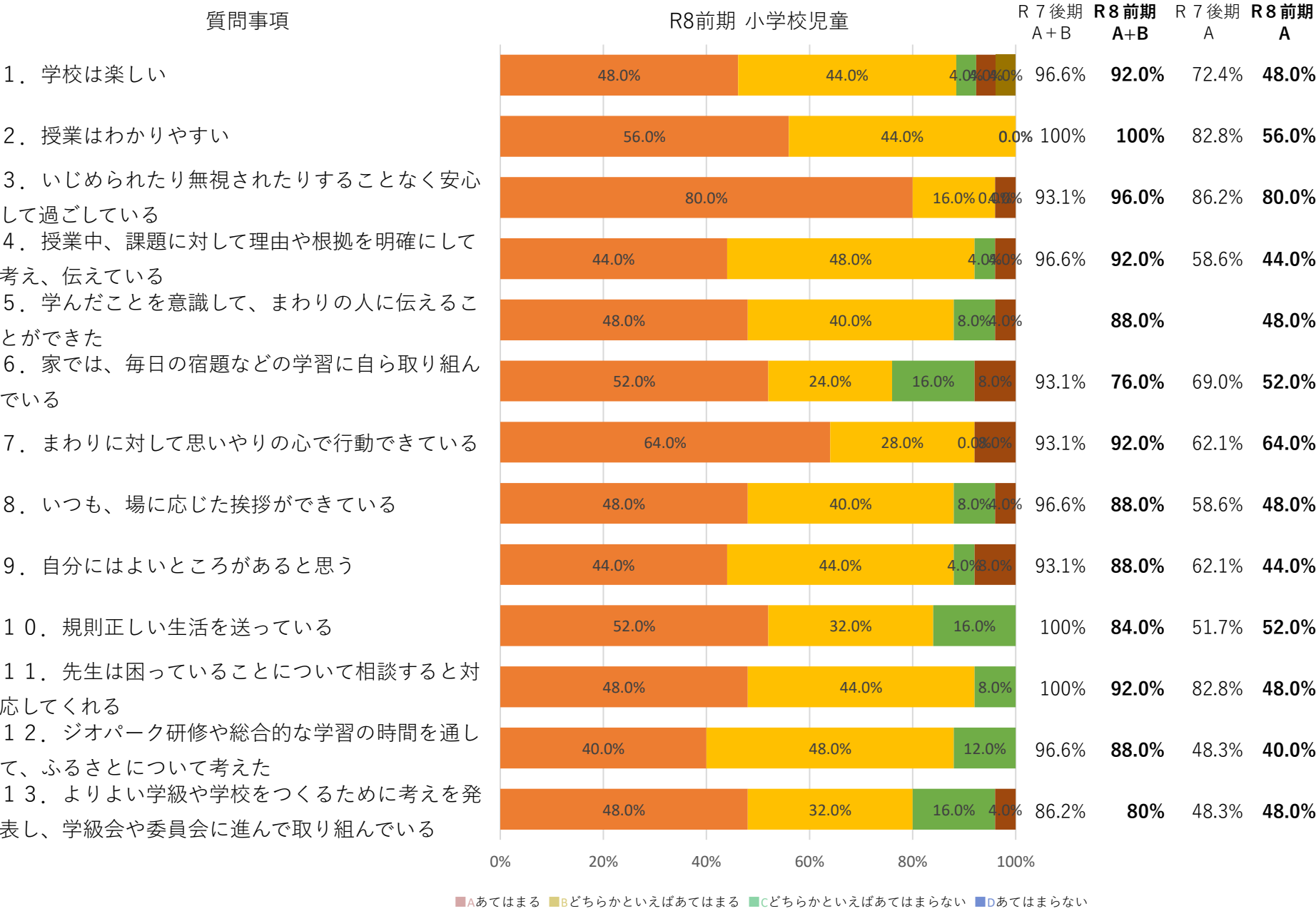
小学校保護者様

白山市立白嶺小学校
校長 高松宏晃

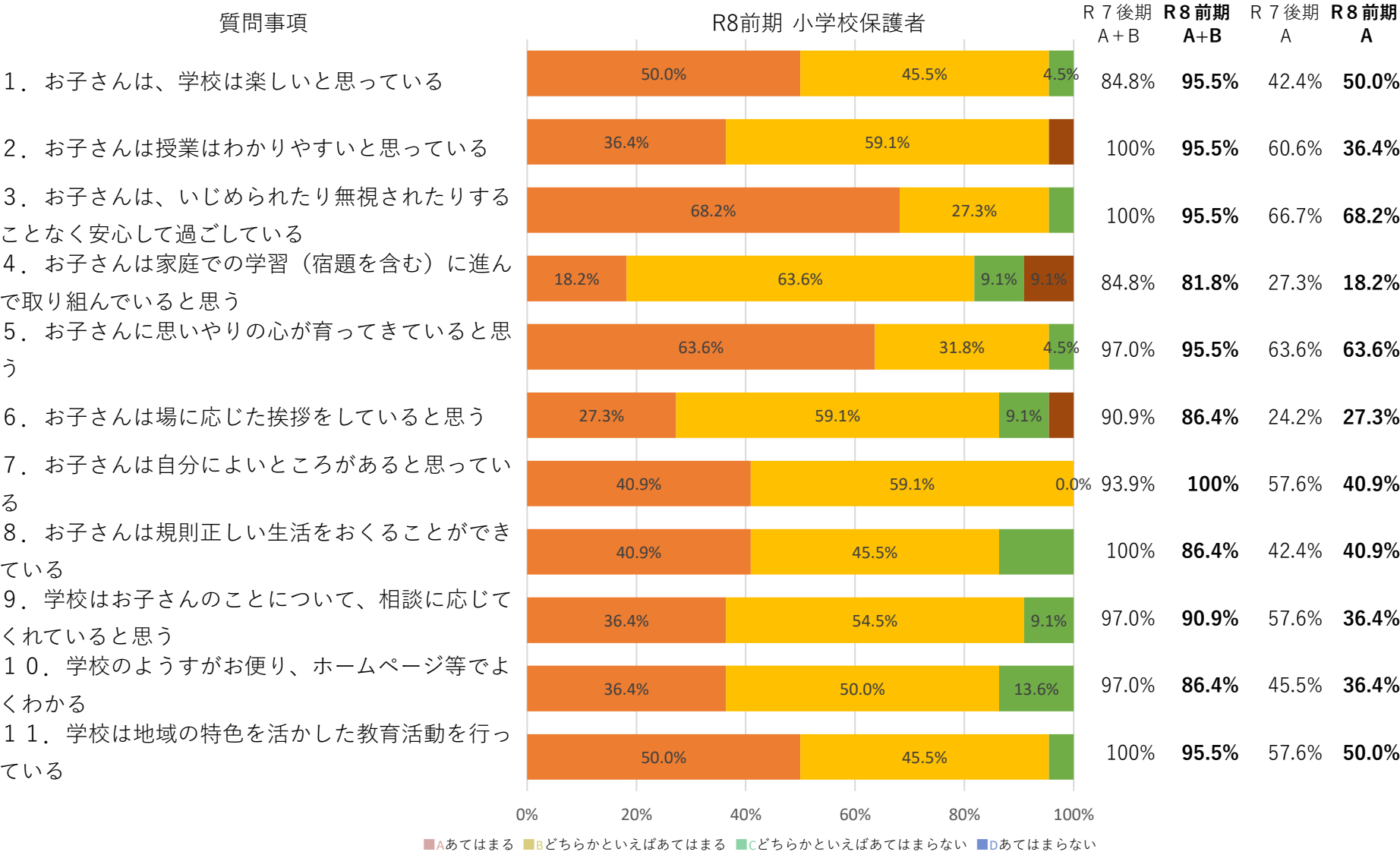
令和 8 年度前期 学校アンケート集計結果等について

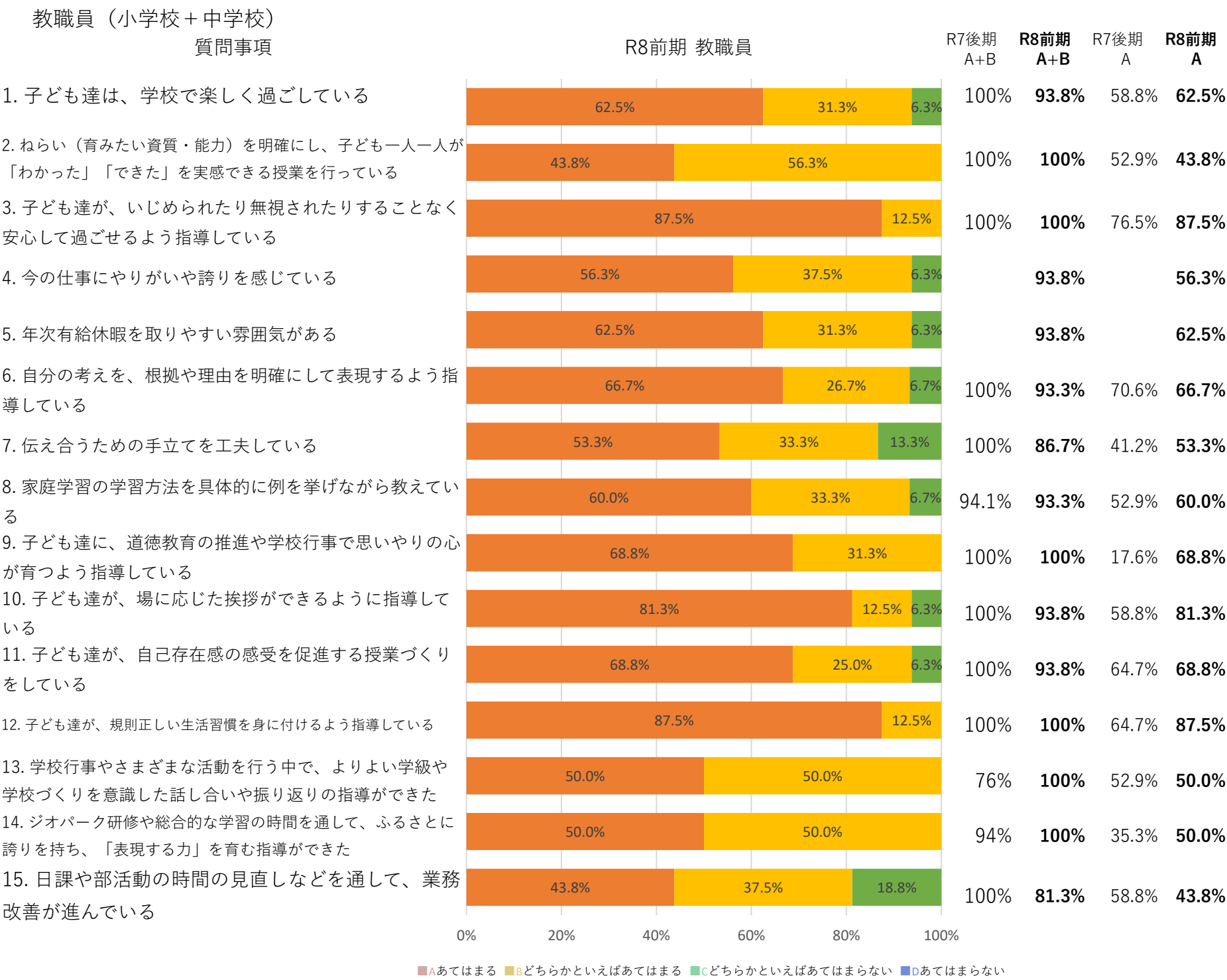
白露の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。前期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、教職員一同、一層の改善に努めていきたいと考えております。

小学校児童



小学校保護者





【よかった点○と課題▲と改善点☆】

〈学習面について〉

- 「授業はわかりやすい」の項目では、児童A＋B評価が100%、保護者もほとんどが同様に感じており、児童は、落ち着いて授業に取り組んでいます。考えを伝え合うときに使うとよい言葉を「話型」として示すことで、意見の交流をスムーズに行うことができました。
- ▲学習において、どの項目でもA+Bの肯定的評価が90%以上を保てていますが、A評価に着目すると下がっています。伝え合いでは、自分の学びをみんなのものにするという意識が弱く感じられます。また、家庭学習に自ら取り組んでいる児童の割合が減少しています。
- ☆学校の学びと家庭での学びがつながり、力をつけていくことができるように、また、「あきらめずにできた、頑張った」という思いがもてるように個々に合わせて声かけや支援を行っていきます。日々の授業では、伝え合いの視点をはっきりさせたり、根拠や理由を明確にする問い返しを行ったりすることで、みんなで学習する良さを価値づけ、「わかった できた」と実感できるように取り組みます。

〈生徒指導面について〉

- 「学校は楽しい」の項目で、児童A+B評価は92.0%、保護者A+B評価は95.5%と高いです。普段の学校生活の様子や生活アンケートの結果をもとに声がけを行っており、児童は、学年が上がって新しい気持ちで元気に学校生活を送ることができました。
- ▲「規則正しい生活を送っている」の項目で、児童A+B評価は84.4%(－16%)でした。
- ▲「場に応じたあいさつ」については、児童は、肯定的な評価ですが、保護者のA評価を見ると27.3%とやや低い傾向にあります。
- ▲自分の周りの人に対して優しい気持ちで接しようと思っている児童が多いです。自分のよさに気づいていない、または、自信を持って自分のよさをを言にくいという面があり、児童A評価は、44%(－16%)と下がっています。
- ☆リズムアップウィークの取り組みでは、早寝、早起き、時間の使い方、あいさつについて、自分の生活をふりかえりながら個々に取り組む課題を絞り、家庭との連携を取りながら今後も進めていきたいと思います。
- ☆自己肯定感・自己有用感が高まるように、職員も「ありがとう」や「がんばっているね」等の前向な言葉をタイムリーに児童にフィードバックし、自分も人の役に立っていることを意識化していきます。
- ☆今後も児童の様子を観察し、生活アンケートの結果や児童の困り感に対する面談を行い、きめ細かな指導・支援を心がけていきます。
- 〈特別活動について〉
- 「よりよい学級、学校をつくるための話し合いの指導」の項目で、教職員A+B評価が100%となりました。ふり返りの時間を確保し、児童同士の思いの共有や教師からの思いを伝えることを意識できました。
- ☆どの活動においても児童主体を基本に、ねらいや目標を明確にし、見通しを持たせて、レベルアップにつながるよう支援していきます。
- 〈学校運営協議会を受けて〉
- ☆児童が自信をもって自分のよさやがんばりを認められるような声がけ、児童や保護者といつでも相談できる雰囲気づくりを今後も行っていきます。
- ☆今年度も地域の方々のたくさんの協力のもと、豊かな自然を生かした活動やふるさとの魅力を感じることでできる活動を行うことができました。夏に、手取湖の活動で体験したことから、現在のダムの水量、白山ろくの水のゆくえ、自然環境に目を向けさせる等、今後も、学年に応じて、身近なところから話題提示したり児童とともに考えたりすることを大事にしながら、取り組んでいきたいです。